

# 「地理 A」 シラバス

科目	地理 A	単位	2	学年	2	使用教科書	高等学校 新版 地理 A ～世界に目を向け、地域を学ぶ～
----	------	----	---	----	---	-------	------------------------------

学習の到達目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
---------	--

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用 of 技能	d. 知識・理解
現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。

週	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	4   5	第1編 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 1章 地球儀や地図でとらえる現代世界 ①球面で世界を考えよう ②世界地図の特徴を知ろう ③世界観の広がりや地図 ④国家の領域と領土問題 ⑤国家をこえた結びつき ⑥交通機関の発達と縮小する地球世界 ⑦情報・通信で一体化する世界 ⑧人・「もの」・資本で結びつく世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化が急速に進んでいる現在では、平面で認識していた世界を、地球という球面で考えていかなければならないことを、地図を使った作業をとおして学習する。</li> <li>・地球儀上の位置の示し方や時差の考え方を学び、時差の計算ができるようになる。</li> <li>・メルカトル図法、正積図法、正距方位図法で描かれたさまざまな地図を地図帳(アトラス)やインターネット等を使って集め、その特徴と欠点を理解し、用途に応じた適切な図法を選択できるようになる。</li> <li>・世界観の広がりとともに地図に描かれる内容が変化してきたことを理解し、現在見られる衛星画像や地理情報システムなど新しい地図表現の役割を理解する。</li> <li>・国家とは何かを考える。また、さまざまな情報手段を活用して世界の領土問題について調べ、レポートにとめる。</li> <li>・交通・通信の発達によって、生活、社会、産業などの関係がどのように変わってきたかを、教科書に掲載されているさまざまな主題図などを適切に活用しながら時系列で理解する。</li> <li>・人・「もの」・資本の移動により、国際貿易、国家間の結合などが活性化・複雑化していることを理解する。</li> </ul>	○	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期考査</li> </ul>
		6   7	2章 世界の人々の生活を取りまく地球的環境 ①さまざまな環境の中で暮らす人々 ②世界的視野から見た地形 ③さまざまな地形と生活 ④世界的視野から見た気候 ⑤世界の気候と生活 ⑥世界の民族・宗教と生活・文化 ⑦生活・文化を支える産業の地域性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の生活様式の差異を、地理的環境とのかかわりから理解する。</li> <li>・世界の自然環境は地域的に大きく異なっていることに気づき、現在のような分布になった理由について、関心をもって学習する。</li> <li>・世界の自然環境を地形と気候の面から大きくとらえ、なぜ差異が生まれるのか、人間生活にどのように影響しているのかについて理解する。また、雨温図を作成する作業をとおして、世界を各気候区分に分類する技術を養う。</li> <li>・さまざまな地形上で営まれている人々の生活とのかかわりについて学習する。</li> <li>・世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習する。</li> <li>・世界の人々がもつ民族性や言語、宗教を教科書に掲載されている写真・地図を適切に使用して理解し、現在発生している民族問題の本質を考察する。</li> <li>・世界の農業・鉱工業について、発達過程を地理的環境との関連で理解し、現在の分布状況や統計資料とあわせて考察する。</li> </ul>	○	○	○	

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	7	3章 世界の諸地域の生活・文化と環境 ①東アジアの暮らしを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地での人々の生活・文化は、その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解し、日本の生活・文化を絶対視することなく、教科書の写真・地図を正確に読み取って広い視野から異文化を理解・尊重する態度を養う。</li> <li>中国の自然と農業を踏まえ第二次世界大戦後営まれてきた人々の生活・文化が、近年の経済発展でどのように変化してきたのかを理解し、中国と日本の相互依存関係についてまとめ、話し合う。</li> <li>韓国について、第二次世界大戦後の朝鮮半島の歩みや自然環境、激変した韓国経済と社会や生活・文化に注目し、大衆レベルでの日韓交流と将来の日韓関係について考察する。</li> </ul>	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>ノート提出</li> <li>定期考査</li> </ul>
2	9	②東南アジアの暮らしを学ぶ ③南アジアの暮らしを学ぶ ④北アフリカ・西アジアの・中央アジアの暮らしを学ぶ ⑤中南アフリカの暮らしを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域の変化を新聞やインターネットなどから読み取り、他地域で暮らす人々の生活を想像する。</li> <li>東南アジアという地域に注目し、農業などに大きく影響する自然環境や、現在の民族・宗教分布とその背景を知識として身につけ、伝統と高い経済成長による変化について理解を深める。</li> <li>A S E A Nの結びつきについて作業を通して理解し、東アジア共同体の実現に向けた展望と課題について、さまざまな情報手段を用いて調べ、話し合う。</li> <li>インドを中心とした南アジアという地域に注目し、そこに暮らす人々の民族・宗教分布の背景を学び、特に宗教と密接に関連したインドの生活と変化について、理解を深める。</li> <li>ムスリムが多く暮らす北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らしに注目し、乾燥帯、イスラーム、石油という地域性を知識として身につけ、パレスチナ問題やイスラーム原理主義など激動する世界情勢について理解を深める。</li> <li>ネグロイド系の人々が多く暮らす中南アフリカに注目し、現在の国家や産業に植民地支配の傷跡が残っていることを主な国の具体例などから学び、その課題に向けて採られている対策を理解する。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>ノート提出</li> <li>定期考査</li> </ul>
10		⑥ヨーロッパの暮らしを学ぶ ⑦ロシアと周辺諸国の暮らしを学ぶ ⑧北アメリカの暮らしを学ぶ ⑨中央・南アメリカの暮らしを学ぶ ⑩オセアニアの暮らしを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパの中の自然環境の違いやたどってきた歴史の違い、すなわち地域性を学び、一体化の進むヨーロッパ社会の現状を、E Uの結びつきの過程などから理解する。</li> <li>ロシアとその周辺諸国について、ソ連時代からC I Sにいたるプロセスやソ連解体後のロシア人の生活・文化と産業などの変化を学習する。</li> <li>移民の国アメリカ・カナダに注目し、アメリカの移民社会と現在の多文化社会の特徴が、産業・大衆文化の形成にどのような影響を与えてきたかを理解するとともに、アグリビジネスやI C T産業に代表されるアメリカの先進性について、理解を深める。</li> <li>先住民や移民、混血など多様な人種・民族からなる中央・南アメリカの社会について、先住民独特の生活・文化や混血の国ブラジルと日系移民の歴史・生活、白人国家アルゼンチンなどを具体例に、その地域の課題も含めて理解する。</li> <li>太平洋諸島も含むオセアニアについて、その位置関係、自然環境、民族移動の歴史を学び、多文化社会のオーストラリア・ニュージーランドを中心に、他地域と結びつきを強めているオセアニアについて考察する。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>ノート提出</li> <li>定期考査</li> </ul>
11		4章 私たちが直面する地球的課題 ①地域の違いとつながりに注目する ②人口問題－対照的な人口増大と少子・高齢化 ③食料問題－食料需給のアンバランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。</li> <li>各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性を図書館やインターネットなどで調べ、話し合う。</li> <li>人口問題について、先進国の少子・高齢化、発展途上国の人口爆発という対照的な問題が起こっていることを理解する。</li> <li>食料問題について、食料分配の不平等さが飢餓と飽食の地域差を生み出していることを理解する。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>ノート提出</li> <li>定期考査</li> </ul>

週	月	学習項目	学習内容(ねらい) および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
2	12	④都市・居住問題－健康で安全な生活環境 ⑤資源・エネルギー問題－せまられる有効な利用 ⑥地球環境問題－21世紀は環境の時代 ⑦地球的課題への取り組みと国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住・都市問題について、発展途上国ではスラム、先進国ではインナーシティ問題などが現れていることを理解する。</li> <li>・資源・エネルギー問題について、資源の限界性と偏在性を理解し、原子力発電を含む世界のエネルギー利用の変化と新エネルギー開発の必要性について考察する。</li> <li>・地球環境問題のうち、酸性雨・地球温暖化・森林破壊と生物種の減少・砂漠化を例に学び、世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解する。</li> <li>・国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し、国際協力について、グローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を身につける。</li> </ul>	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期考査</li> </ul>
3	1	第2編 生活圏の諸課題の地理的考察 1章 日常生活と結びついた地図 ①地図をもって生活しよう ②身近な地図を読みこなそう ③地図表現について考えよう ④地形図を活用しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地図や所要時間マップ、鳥瞰図など、教科書に掲載されている地図を、関心をもって参照し、また身近にあるさまざまな地図を収集して、地図を読むことの楽しさを理解する。</li> <li>・観光地図とインターネット上の地図を比較して、描かれていることと描かれていないことがあることを理解する。</li> <li>・地理の言語としての地図、作成者の意図により取捨選択されている地図について、現在は住民参加の地図や触地図、バリアフリーマップなどさまざまな種類の地図が発行されていることから、目的に応じた地図選択の重要性を理解する。</li> <li>・地形図の特徴について理解する。</li> <li>・地形図を読む際の決まりごとを知識として身につけ、新旧地形図の比較から地域の変化を読み取ることを学習する。</li> <li>・地形図学習のまとめとして、身近な地域の地形図を入手し、読図した結果を現地に赴いて確認し、地形図活用の有効性について理解を深める。</li> </ul>	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期考査</li> </ul>
3	2	2章 自然環境と防災 ①日本の自然と生活 ②自然災害に備えた暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている写真や地図・図版を適切に参照し、自然災害が多発する日本列島に、豊かな文化が築かれた背景を考察する。</li> <li>・生活に影響を与えている気候、局地的な気候について理解し、気候によって異なった特徴を見せる生活・文化について、インターネットや周りの人から具体例を積極的に聞き出し、グループで話し合う。</li> <li>・生活に影響を与えている地形の特徴について理解するとともに、地形の状態に応じて暮らしてきた日本の村落・都市立地を理解し、江戸時代以降、地形を改変して生活環境を変化させてきた人々の暮らしがどのようなものになっているか考察する。</li> <li>・自然災害の多い日本列島で、人々の生活に大きな影響を与える火山災害・水害・地震について、自然現象やこれまで受けてきた災害の歴史を理解するとともに、先人の知恵が詰まった、災害に備え、災害とともに暮らす生活について関心をもって考察する。</li> <li>・自然災害に備えるためには、ハザードマップや緊急地震速報の有用性を認識するとともに、災害に強い地形や環境について理解し、災害に見舞われた際になるべく被害を減らせる(減災)できるよう、地域防災力を高めるために個人ができることを積極的に話し合う。</li> <li>・自らが住む地域のハザードマップをインターネットで検索したり、市役所や町役場で発行しているハザードマップを入手したりして、最も起こりやすいと想定されている災害は何か、また避難時に障害となるところはどこか、など、地域とそこに住む住民とともに減災に向けて意欲的に取り組む。</li> <li>・作業を通して日本の気候と農業、気候と河川の関係性について学習する。また、ハザードマップを読み解き、災害時の行動をシミュレーションするD I Gに取り組む作業を通して、日ごろから備えることの重要性を理解する。</li> </ul>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・ノート提出</li> <li>・定期考査</li> </ul>

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
3	3	3章 生活圏の地理的な諸課題と地域調査 ①地域調査の方法 ②水とともに暮らすまち「白山市」を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。</li> <li>地域調査の一環として、資料収集・現地調査を行い、的確な統計地図やグラフを作成して報告書をまとめ、発表する。</li> <li>地域調査を通して、河川は災害だけでなく豊かな生活にも恵みを与えていることに気づき、古くから人々は水の恵みを得るための工夫をこらし、災害をいなしながら生活してきたことを理解する。</li> </ul>	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>提出課題</li> <li>小テスト</li> <li>ノート提出</li> <li>定期考査</li> </ul>